

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

4 vol.10



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー
メッセージ ローターリー雑誌月間にあたって 1
ガバナー 松本 新太郎

「ROTEX活動」の新しい試み 8
青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎

ロータリー雑誌月間にちなんで 2
ロータリーの友 代表委員 井川 孝三

坂東 宏バスト・ガバナーを偲んで 9

2010～2011年度 IM第2組報告 3
IM実行委員会 副委員長 稲邑 清也

米山奨学委員会・ロータリー財団 10

2010～2011年度 IM第4組報告 4
東大阪東RC 会長 石田 肇
IM実行委員会 委員長 北川 忠嗣

2011年2月度 会員数・出席報告 11

第1回 米山スピーチコンテスト報告 5
米山奨学委員会 委員長 磯田 郁子

文庫通信 12

2010～2011年度 第2660地区
DDFシェア会議報告 6-7
ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏

お知らせ 13

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に 心よりお見舞い申し上げます

このような時にロータリー活動をしている場合ではない、と思われる方がおられるかもしれませんが、このような時だからこそ、ロータリー活動に本気で取り組むべきなのではないでしょうか。

助けを必要としている方々がすぐそこにおられます。私たちが日ごろから学ぼうと努力している「奉仕の心」を、今こそ実践する時です。ロータリアンとして胸を張って、行動してまいりましょう。



4月はロータリー雑誌月間です。

ロータリークラブに入会する際には先輩諸兄から会員の権利や義務などについて、さまざまな説明を受けます。その中でロータリアンの義務の一つとして、雑誌を購読しなければならない、という項目があります。

どうもこの「読まなければならない」という頭ごなしの強制感に、拒否反応を示す方も少なくないような印象をかねがね抱いております。押し付けられては読む気が失せるのもある意味当然で、それ故に「読まれざるベストセラー」と揶揄されることもあるようです。

どうしてもこの義務意識が前面に出てしまうと、気分的にも重苦しいものがあります。そこでとりあえずは、この義務感をいったん脇において「ロータリーの友」を見つめ直してみたいかがでしょうか。

社会人が日々新聞に目を通すように、ロータリアンとして毎月雑誌に目を通す。そんな自然な習慣を身に付けたいものです。

新聞は多くの方が毎日読まれていると思いますが、とはいっても紙面の隅々まで読破する方は少ないでしょう。それと同様にロータリーの友も、すべての記事を読み切る必要は必ずしもないと思います。皆さんにとって必要な、関わりのある情報を吸収していただく。それで十分だと思います。

ご自身のクラブや地区のニュースはもちろん、交流のある近隣クラブの動きやRIの動向なども把握しておけば、ロータリー活動を進めていただくにあたって、大いに役立つはずです。あるいはRIの指定記事や講演記録など感銘深い、有意義な気づきを与えてくれる記事も活用

したいものです。

また今後の事業計画立案に苦慮されている方々にとっては、世界や国内各地のクラブで今、どのような活動が実施されているのかを知ることができる、重要なネタの宝庫でもあるはずです。あれこれ勉強して少し疲れたときには、川柳や趣味の記事などで、頭を休めるのもいいのではないのでしょうか。

雑誌にはそれぞれご自身のニーズに応じて、いろんな活用方法があると思います。息が詰まりそうな「義務感」からは解放され、自分の興味が向くことを一つでも吸収するつもりで気楽にお読みいただければロータリーの友が案外、身近な存在に感じられるかもしれません。

こうして雑誌とあなたの接点を発見していただいたら、今度はロータリーの友との親睦を一層深めてみてはいかがでしょう。それにはロータリーの友に参加することです。例えば日頃ロータリーであなたがお感じになっていることを投書してみるのも一案。またクラブ広報の一環として、事業の記事を投稿することもぜひご検討ください。あるいは俳句や川柳など、あなたの作品を投稿されてもいいかもしれません。

雑誌には人それぞれ、いろんな楽しみ方があるはずです。雑誌月間にその楽しみ方をもう一度、考えてみませんか。そしてより有効な雑誌の活用方法を考えてみることもいいかもしれません。

あるいはさらに一歩進んで、広報を強化していくべきこれからのロータリーにおいての雑誌のあり方などについて思いを巡らせてみることも、意義深いのではないのでしょうか。



「THE ROTARIAN」は、イリノイ州エバンストンにある世界本部から出されており、ポール・ハリスが書いた「合理的ロータリー主義」を掲載するためにチェスリー・ペリーRI事務総長によって1911年1月に発行されたのが始まりです。

日本の地域雑誌「ロータリーの友」は、1953年1月号が創刊号です。1952年7月、国内1地区だった地区が2地区に分かれることになり、2つの地区で情報が共有できるように雑誌の発刊が提案され「友」が生まれました。そして、1980年7月号から「ロータリーの友」が公式地域雑誌として承認されたのです。RIの定める公式地域雑誌の認定条件の主な要件として、50%以上がロータリーの関連記事であること、RIの指定する記事の掲載や、RIに依存することなく財政的に強固な基盤をもって運営されなければならない。また記事による名誉棄損の訴えなどに備えるために、保険付保をしなければならないのです。このようなRIの定める公式地域雑誌としての認定条件を、今後クリアしていくには、「ロータリーの友事務所」が任意団体のままでは難しくなってくる

ということもあり、今年度から「一般社団法人ロータリーの友事務所」として法人化を果たしました。(2010年3月25日設立登記完了)

ロータリアンには三大義務があります。会費の納入、例会出席、そしてロータリー雑誌 (Rotary Magazine) の購読です。では、なぜロータリアンは、ロータリーの雑誌を読まなければいけないのでしょうか。幅広い奉仕をするために、自分の所属するクラブばかりでなく、自分のクラブのある地区ばかりでなく、そして、自分の国ばかりでなく、世界中のクラブの活動やロータリアンのことを知ることができるのです。ロータリーの雑誌を通して、幅広く情報を入手し、それを実際の活動に生かしてください。「ロータリーの友」は、より身近で、より親しまれる「友誌」を目指しております。ロータリーの友をリビングに置いて、ご家族の方に読んでいただければ、家族がロータリーを理解するきっかけに、会社には置けば従業員の方々がロータリーを知るきっかけになることと思います。もちろん、ロータリアン自身の活動のため、役立てていただけるのではないのでしょうか。

テーマ：コミュニティの崩壊と再生

ホスト：千里RC（会長神前俊彦、実行委員長西田泰晤）

日時：2011年2月5日 14:00～16:30

場所：ホテル阪急エキスポパーク

参加クラブ：茨木RC、茨木東RC、茨木西RC、千里RC、千里メイプルRC、摂津RC、吹田RC、吹田江坂RC、吹田西RC、高槻RC、高槻西RC、高槻東RC

登録者数：463名

出席者数：219名（来賓、RC家族を含む）

今回のIMは掲題のテーマで大阪大学総長鷲田清一氏（千里RC会員）から御講演を頂きました。

氏は家族、近親者、村、街などの相互の助け合いで成り立っていたコミュニティから、現代の機能別に分担されたプロフェッショナルからなるコミュニティへの変化について指摘され、我々がそれによって得られた利便性、高能率性、高機能性、プライバシーの確保に引換え、失ったものは何かを反省させられました。出産、育児、医療、教育、宗教、職業生活、冠婚葬祭に至るまで従来のコミュニティではみんなで支えあって生きてきたのが、全てが高度の経済と商業活動に組み込まれ、技術や専門性に依存する社会になりつつあるとの指摘をされました。

氏は高度な内容を判り易く話されました。御幼少の頃、赤と緑の模様のついた買物籠を持たされ近くの店まで買い物に行き、店のおっちゃんから「ボンは偉いな」と褒められてもちっとも嬉しくなく、皆がすみずみまで知り

あっている京都の下町から抜け出したい一心で勉強したとのくだりや、ガールフレンドとの電話を家族に立ち聞きされたくない一心で小遣い銭をはたいてウォークマンを買って失敗した話などです。昔は欲しくてたまらなかった携帯電話は今は当たり前になっています。氏も我々と同じように昔のコミュニティから脱し、利便性とプライバシー確保に到達したわけです。

この機能性尊重の現代のコミュニティでも「家庭崩壊」を防ぎ、「無縁社会」とならないよう、また「孤独死」などに至らないようにはどうすればよいのかを改めて考えさせられたと思います。更にロータリークラブの意義についても認識を促されました。我々は新しいコミュニティの再生に役立つ事を願って活動せずにはいられません。

閉会式では次年度のIMのホストクラブ会長の茨木東RCの中田有紀氏から挨拶があり、再会を期して散会しました。



2010～2011年度 IM第4組報告

東大阪東RC 会長 石田 肇
IM実行委員会 委員長 北川 忠嗣

テーマ：「人と環境最前線」～人と自然の共生を目指して～
ホスト：東大阪東RC（会長 石田 肇）
日時：2011年2月12日（土）
場所：シェラトン都ホテル大阪
参加クラブ：八尾RC、大阪柏原RC、八尾東RC、八尾中央RC、
東大阪RC、東大阪中央RC、東大阪西RC、
東大阪みどりRC、大阪ネクストRC、東大阪東RC
出席者数：290名（登録会員数417名）



今世紀の重要課題の一つが、環境問題です。特に地球環境問題は、貧困や紛争などと並んで、主要な国際政治問題、社会問題の一つと位置付けられています。2010年RI規定審議会の決議案においても、「環境問題に対する認識を高めることを検討するようRI理事会に要請する件」として採択され、ロータリーの価値とは、環境悪化の影響を最も受けやすい貧しい人々や恵まれない人々を援助することとしました。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」をRIテーマとし、その実行目標の中に「疾病予防と治療」「水と衛生設備」を入れています。最近のロータリーの方向は、「環境問題」に対する認識を高めるようになってきています。今回私たちは「人と環境最前線」～人と自然の共生を目指して～をテーマに基調講演とシンポジウムを企画しました。

【基調講演】

プロスキーヤーでクラーク記念国際高等学校校長の三浦雄一郎氏から「世界最高峰から見た地球環境の変化」のテーマで基調講演を頂きました。世界最高峰から地球を眺め、大気の様子、大地の動きや季節の移ろい、森林破壊、大気汚染等、地球上で起こっている多くの変化を目のあたりにして、地球の温暖化を肌で感じ、地上5000m以上の標高となると酸素が半分になり、人類は子供を作れない、このまま地球の温暖化、二酸化炭素の増加、地球の砂漠化で、やがて平地でもヒマラヤの高地同様に酸素が少なくなる可能性があると話されました。

【シンポジウム】

「人と環境それぞれの取り組み」

コーディネーター：溝畑正信氏（東大阪東RC会員）

シンポジスト：中園直樹氏

（神戸大学大学院教授 神戸北RC会員）

宮澤三雄氏

（近畿大学理工学部教授 東大阪東RC会員）

中東 弘氏（枚岡神社宮司）

中園直樹氏は、「途上国での水の確保と衛生設備」で、ロータリー活動を通じて関与した水、トイレのプロジェクトについて

実例を挙げ、写真にて紹介されました。カースト制度のため水を独自に工面しなければならないネパールでの例、タイの山岳地帯の少数民族の小学校への雨水タンクとろ過、ラオス小学校へのタイのロータリーとの共同支援等々を紹介されました。

宮澤三雄氏は、「香りのカーセルフメディケーション時代への新展開」で“香り物質”を嗅覚的刺激としての効果だけでなく、機能的価値を科学の目で検証し香りの物質の可能性を探求することにより人々の生活環境を香りの力で向上させる時であると話されました。

中東弘氏は「神道と先人の知恵」で、生物は連鎖しており独自では生きられない、太陽や、大地や、虫や、微生物や、水等々のおかげを受けて生かされているのである。命の水の湧き出る山や社に神社を祀り、神聖な場所として確保してきたために、豊かな自然が残されたと話されました。

各シンポジストの有意義な発表、その後フロアからの活発な質疑応答がありました。

シンポジスト、出席の皆様との討議を通じ、自然を崇め守る古来からの伝統文化を持つ日本、変化にとんだ海岸線、多くの火山、豊かな雨、生物の多様性、国土の60%以上を覆う森林、これらの恵みを持つ日本は、環境保全と持続可能な暮らしづくりの分野で世界のリーダーとなっていくべきでしょう。環境保全という問題は、ロータリー活動において、大変重要なテーマになってくると思います。私たち一人一人が地球環境保護という問題に、ロータリーの叡智を傾け、住みよい地球環境に奉仕活動を実践していきたいと考えます。

終了後の第2部の懇親会では、多くの皆様方が参加され、にぎやかに、会場のあちらこちらで楽しい交流の華を咲かせていただきました。



第1回 米山奨学生 スピーチコンテスト報告

米山奨学委員会

委員長 磯田 郁子
(大阪東淀ちゃやまちRC)

日 時：2011年2月19日(土) 14:00 ~ 16:00

場 所：大阪国際交流センター

参 加 者：【審査員】松本G、近藤R I 理事、若林P G、岡部GE、高島GN、磯田委員長、武島副委員長、
楮学友会役員(以上8名)
村橋、米田、田中、西谷、吉田、有竹、中川、小山、榊原各委員
参加者 100名

初めての試みである米山奨学生による日本語スピーチコンテストを2月19日に開催いたしました。これは米山奨学生が、日本ででの生活で感じたことや日本ででの学習の成果を発表することと、地区内ロータリアンに米山奨学生の意見や考えを伝える機会とすることを目的として企画いたしました。

今学年度41名の奨学生のうち14名が応募、うち当日は12名が出場いたしました。母国で日本語を学習してきた者、日本に来てからゼロから日本語を学んだ者など様々ですが、出場者は皆、すばらしい日本語で自分の意見や主張を堂々と述べました。「アルバイト先で差別されていると感じて悲しかったが、自分の心を開くことでその差別はなくなる。」「日本と中国の関係が冷え込んでいる現在、こんな時こそお互いの国の文化を知り、マスコミやマスメディアの報道に振り回されることなく自分の考えで

中国人は日本人と日本人は中国人と接して欲しい。」など様々なスピーチがあり、考えさせられました。

また、このスピーチを聞いたロータリアンからは「もっと多くのロータリアンにこのスピーチを聞かせたい。」「米山奨学生の各スピーカーの心のこもったスピーチ内容もさることながら、一語一語の正しい言葉使いに感銘を受けた。」「若いスピーカーから夢をもらった。」などの感想をいただきました。

本業の研究や勉強で忙しい中、このスピーチコンテストに応募してくださった米山奨学生の皆様に心から感謝するとともに、当日ご出席くださったロータリアンにお礼を申し上げます。このスピーチコンテストがこれからの当地区での更なる米山奨学制度への理解と発展に繋がることを願っています。

- ◆最優秀賞 刘 璐(中国)「心を開いて、勇気を出して、真の異文化理解へ」
大阪大学博士課程 世話クラブ：大阪御堂筋RC
- ◆優 秀 賞 ハニバロバ・レンカ・スザナ(チェコ)「世界の人々の架け橋」
関西大学学部4年生 世話クラブ：大阪RC
- ◆優 良 賞 張 仲 凱(中国)「人生の新たな出発」
大阪日本語教育センター進学過程 世話クラブ：大阪平野RC
- ◆特 別 賞 周 明(中国)「日本留学で学んだこと」
大阪大学修士課程 世話クラブ：茨木RC
- ◆特 別 賞 バスネト マドゥ(ネパール)「米山奨学生になって～幻の恋に会った～」
大阪産業大学修士課程 世話クラブ：大阪本町RC



日 時：2011年2月10日(木)

場 所：G事務所会議室

出席者：松本新太郎G、ロータリー財団部門顧問 横山守雄PG、岡部泰鑑GE、高島凱夫GN、小林澄子地区国際奉仕・WCS委員長、財団部門各委員長(福家宏地区ロータリー財団委員長、溝畑正信地区ロータリー財団副委員長、百済洋一地区財団情報・増進委員長、五味千秋財団人道的補助金委員長、梅崎道夫地区財団奨学金・学友委員長、吉崎広江地区研究グループ交換委員長)川上大雄次年度地区社会奉仕委員長、古澤照明次年度地区国際奉仕・WCS委員長、杉村雅之次年度地区財団情報・増進委員長、川田隆次年度財団人道的補助金委員長、岸上億則次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-2013年度地区代表幹事

シェア・システム Share System

ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF(地区財団活動資金)、50%がWF(国際財団活動資金)に配分され、地区／クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらに通常はDDFとWFには恒久基金の利息の50%が加算されます。このようなシステムをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議

2012-2013年度に配分される新規DDFは2009-2010年度の年次寄付の50%です。この金額はロータリー財団から毎年1月に通知されます。新規DDFに前年度(2011-2012年度)の繰越金を加えた合計金額が2012-2013年度に利用可能なDDFということになります。2012-2013年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が主催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会にご出席されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額

2009-2010年度の年次寄付の50%は280,138.92ドル。(次々年度は恒久基金の利息の50%は付加されず)2011-2012年度の繰越金額は162,635.49ドル。両者の合計は442,774.41ドルで、これが2012-2013年度のDDF利用可能金額です。

協議に先立って 司会：福家地区ロータリー財団委員長

松本Gは丁度この日に第2660地区の85クラブ全ての公式訪問を終えられました。大変なお仕事を完了されましたということで、全員拍手で祝福。

松本G：全クラブ公式訪問無事終了は、皆様のおかげです。次年度に期待することは何かと言うお尋ねです

が、これは岡部GEにお任せを致します。

岡部GE：国際協議会についてご報告します。カルヤン・バネルジー RI会長エレクトは次年度のテーマを「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」とされました。テーマのロゴは3つのハートが大きく広がっていくというもので、博愛精神を表わしているということです。インドの方で、幾分宗教色が感じられるテーマです。そしてロータリアンにとって大切なこととして「家族」「継続」「変化」の3つを挙げられました。「家族」は奉仕の原点。母の子に対する愛情が良い家族を作り、良い家族が良き地域社会の礎になることを説かれました。「継続」も大切に、貧困な国地域に対し、新補助金制度の中で謳われている6つの重点項目に該当するような事業の継続性は重要と言われました。「変化」については、社会を変化させるというのではなくて、先ず自分自身が変化していく自己啓発の必要性を説かれました。またロータリーの長期計画を遂行するために①クラブのサポート強化②人道的奉仕③公共イメージの向上の3つの要素を挙げられました。私もこれに則って1年間の活動を考えています。①については出席率向上の実現②については特にポリオの撲滅③についてはマスメディアの利用を実現に向けて動き始めており、今月大谷PGがインドにてポリオワクチンの接種活動を行われますが、TV大阪がこれを取材して7月18日に放映されることが決まっています。

次年度方針について話を進めます。次年度の寄付目標は年次寄付150ドル以上、ポリオ撲滅の寄付3000円以上と致します。クラブのサポート強化に関連しますが、各クラブにクラブ研修リーダーを設けて頂き、新しい会員への指導に努めて頂きます。地区大会では入会後3年未満のロータリアンを出席義務者とする研修会を開きます。新世代奉仕についても、計画を練ってロータリアンの認識を深めたいと思います。2013年7月からの「未来の夢計画」ですが、今年度を大切な準備期間と捉えて、次年度に備える所存です。

吉崎地区研究グループ交換委員長より

2012-13年度のGSEプログラム実施についてTRFの指示を待っていたところ、派遣費用をWFではなくDDFから5000ドル支出して実施して良いとの通知があり、当地区ではハンブルグとの交換を計画しています。

DDF配分協議

財団部門4委員会各委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。また小林地区国際奉仕・WCS委員長、川上次年度地区社会奉仕委員長からも以下の通りのお考えが述べられました。

百済委員長：ロータリー・カードと2億ドルチャレンジ進捗の件につき報告

吉崎委員長：派遣費用5000ドルのほかに語学研修費2500ドルを要請したい

梅崎委員長：次年度派遣奨学生は3名と少なかったが、次々年度やはり7名の派遣を目指すので、7名分のDDF配分を要請したい

五味委員長：今年度地区補助金予算の50000ドルは申請件数が多く枯渇したので、次年度から55000ドル、次々年度56000ドルを要請したい

小林委員長：マッチング・グラントはより規模の大きなプロジェクトを実施して件数を少なくするのが今後の方

向だと思われ、規模拡大を考慮してマッチング・グラントのためのDDFは10万ドルを要請したい

川上次年度委員長：地区補助金プロジェクトの適格性についてクラブ／ロータリアンの理解が不十分。対策を検討されたい

横山顧問より

①岡部年度基本方針を評価

②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき

③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき

④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにするべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定

これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、下の表の通りです。

高島GNより

2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にして行きたいと考えている。

上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2011年2月10日シェア会議
ロータリー財団委員会
単位:US\$

	2010-11年度予算	2011-12年度予算	2012-13年度予算
前年度DDF繰越額	276,434.50	194,577.46	162,635.49
TRF新規DDF配分額	307,639.97	279,558.03	280,138.92
DDF利用可能総額	584,074.47	474,135.49	442,774.41

配分・分野	2010-11年度予算		使用見込み		2011-12年度予算		使用見込み		2012-13年度予算		使用見込み	
〈人道的分野〉												
地区補助金	50,000		50,000		50,000		55,000		56,000		56,000	
WCS MG	65,000		65,000		65,000		65,000		100,000		100,000	
〈教育的分野〉	奨学生@25,000				奨学生@26,000				奨学生@27,000			
国際親善奨学生	8名	200,000	6名	150,497.01	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	7名	189,000
〈プログラム強化〉												
GSE語学研修	2,500		0		2,500		2,500		2,500		2,500	
GSE派遣									5,000		5,000	
〈寄贈分野〉												
ロータリー平和フェロー	25,000		25,000		0		25,000		25,000		25,000	
ポリオ・プラス	86,000		86,000		86,000		86,000		40,000		40,000	
追加GSE寄贈(他地区への寄贈) 2010-2011年度 スリランカ D3220へ	0		13,000									
分野別・配分総額	428,500		389,497.01		411,500		311,500		417,500		417,500	
次年度への繰越予定額	155,574.47		194,577.46		62,635.49		162,635.49		25,274.41		25,274.41	

ROTEX (ローテックス) は国際ロータリーの青少年交換プログラムで海外で生活し、帰国した学生達の集まりです。活動として、大阪に滞在している来日学生や、自分達の後輩達をサポートして、一年間にわたる交換プログラムのイベントを企画、運営をしたり、また自分達の体験を活かしたアドバイスを後輩達に行っています。

その彼らが、新しい活動に挑戦しました。大阪市が主催する「2011国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会」の後夜祭を主管、企画運営をしたのです。これは大阪市が2003年より行っている車椅子バスケットボール大会で、今年は今年の7月に開催された世界選手権大会優勝チームのアメリカ合衆国、3位のカナダ、4位のオーストラリア、そして7位の日本と世界最強の女子チームを招いて開催されました。大会は単なるスポーツ競技会ではなく、各国の選手が大阪市内の学校を訪問する「学校交流会」や選手と市民などが交流する「車椅子バスケットボール体験教室」を合わせて行うなど、市民が参加できる大会と位置づけられています。

乾杯で始まった後夜祭は食事と歓談の時間をとり、車椅子で移動する選手のサポートをしました。バイキングであっても高い位置にある料理などは取る事が出来な

いからです。また、3日間に渡った試合をビデオ録画し、当日の後夜祭では編集したダイジェストを流しました。大阪で活躍するバスケットボールパフォーマー「SOME CITY」と連絡を取り、イベントの目玉としてご出演頂きました。最後はビンゴゲームで楽しく盛り上がり、会は成功裏に終了しました。

会の冒頭から全てを英語で進行した実力は、我々参加した委員会スタッフも驚かされるものでした。また、イベントに望む彼らの積極性は、ロータリーが行う青少年交換プログラムの成果の現れだと自負します。大阪市の方々からお褒めのお言葉を頂き、来年以降も是非、大会運営に参画してほしいとご依頼を頂戴しました。現在、来年度は来日学生の参加も考えられないか検討をしています。

この企画を進めるにあたり、まず大阪体育大学の講師でこの大会を主催担当されている高橋明先生のご講演をROTEXの例会としてお招きし、またこの5月には関西合同プログラムとして「車椅子バスケット体験教室」を予定しています。見るだけではなく、支える、そして体験する。色々な形で参加意識を持つ彼らに感心すると共に、これからも期待していききたいと思います。



2010年12月24日、多くのロータリアンに慕われ尊敬されました坂東宏パスト・ガバナーが88年の生涯を終えられました。

昭和19年に京都大学法学部を卒業され、昭和31年4月大阪弁護士会に登録、生涯を法曹界、社会の為に尽くされ、ロータリーに多大の貢献を続けてこられた坂東さんの温容を回想し、真に痛恨の極みであります。昭和34年、吹田ロータリークラブに入会、同47年にクラブ会長を務められ、多くの地区委員を歴任されました。昭和59年11月5日に新大阪ホテルで開催された地区ガバナー指名委員会において、時のガバナー指名委員長・世戸一男PGから「1986～87年度のガバナー・ノミニ候補として、吹田RCのシニア・アクティブ会員 坂東 宏君を指名する件」の提案があり、ガバナー、パスト・ガバナー全員の賛成を頂き、決定した日のことを懐かしく思い出します。

私が1986～87年度、87～88年度 国際協議会の日本語グループのディスカッションリーダーを務めることになった初年度に、同じ地区から選ばれた1年目のGNが坂東 宏さんでした。テネシー州ナッシュビルのオブリランド・ホテルで開催された国際協議会の研修で、朝から夕方まで続く厳しい部門別協議会の討論を共にした6日間、休日には坂東さんと一緒に食べ歩いた日本料理の美味しさは、忘れ得ない思い出です。

あの温容、頭脳明晰にして、優しくユーモアあるお人柄は、永く永くロータリアンの心に生き続けることでありましょう。

ガバナーを終えられた後も、PGとして永く各部門の指導者として活躍され、多くのロータリアンに慕われながら、共に学び、共に楽しんだ往時を偲び、坂東PGのご冥福を心よりお祈りいたし、追悼の言葉といたします。

合 掌



坂東 宏 名誉会員

- ・生年月日 大正11年6月26日
- ・学 歴 昭和19年9月 京都帝国大学法学部卒業
- ・職 歴 昭和25年4月 大阪家裁・地裁裁判官
昭和28年4月 神戸地裁裁判官
昭和31年4月 大阪弁護士会登録
昭和43年4月 近畿大学法学部講師
- ・ロータリー歴 1959年 7月 吹田ロータリークラブ入会
(1960年4月 認証状伝達式挙行)
1961～1962年度 幹 事
1972～1973年度 会 長
1986～1987年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー
2005年9月～
2010年12月 吹田ロータリークラブ名誉会員

米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2011年1月末	全国寄付金合計額	983,512,101円（前年度比 0.01%増）
〃	第2660地区寄付金合計額	57,353,945円（前年度比 4.01%減）
2011年1月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	72,810,127円	6. 第2580地区 49,430,505円
2. 第2660地区	57,353,945円	7. 第2770地区 45,154,592円
3. 第2750地区	56,848,280円	8. 第2780地区 36,099,000円
4. 第2590地区	52,670,100円	9. 第2820地区 34,572,000円
5. 第2760地区	51,448,608円	10. 第2640地区 34,173,420円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年1月)

氏 名	回 数	クラブ 名
橋 本 正 幸	1回目	大東RC
大 矢 克 巳	1回目	大東RC
戸 川 通 夫	1回目	茨木RC
安 達 昌 弘	2回目	大阪中之島RC
前 田 隆 司	4回目	大阪中之島RC
西 田 末 彦	1回目	大阪中之島RC
森 治	1回目	大阪梅田RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年1月)

クラブ 名	回 数
大 東 R C	33回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

1月は該当者なし

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011年)

福家 宏	3回目	八尾中央RC	12/24
簡 仁一	4回目	茨木RC	1/14
木本 保平	2回目	茨木RC	1/14
江崎 勝久	2回目	大阪RC	1/28
早栗 義文	1回目	大阪なにわRC	1/28

ロータリー財団

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。
(2011年)

富岡 成夫	東大阪RC	1/28
-------	-------	------

※大阪住吉RCより50周年を記念して、
米山奨学会に20万円、ロータリー財団に50万円の寄付がありました。

2011年 2月度 会員数・出席報告

I-M組	クラブ名	7月 期初 会員 数	2月 末会 員数		入 会者 数累 計	退 会者 数累 計	増 減	例 会 数	出 席 率	ホーム クラブ 出 席 率	I-M組	クラブ名	7月 期初 会員 数	2月 末会 員数		入 会者 数累 計	退 会者 数累 計	増 減	例 会 数	出 席 率	ホーム クラブ 出 席 率
			全 員	女 性										全 員	女 性						
I-M第1組	池田	39	40	3	2	1	1	4	73.00	64.24	I-M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	76.50	68.50
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	3	82.26	79.69		大阪西	77	77	0	5	5	0	4	91.42	85.35
	箕面	31	30	1	0	1	-1	4	81.95	76.91		大阪大淀	47	53	0	9	3	6	4	83.17	73.76
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	3	88.87	85.62		大阪リバーサイド	34	34	5	1	1	0	4	88.17	80.01
	豊中	47	44	2	2	5	-3	4	89.22	83.81		大阪西北	56	56	0	2	2	0	3	92.09	80.57
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	4	65.21	63.05		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	4	92.94	84.18
	豊中－大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	3	75.19	75.19		大阪梅田	43	39	0	1	5	-4	4	78.81	65.89
	豊中千里	38	36	2	0	2	-2	4	88.23	83.12		大阪梅田東	36	37	0	1	0	1	3	79.27	62.15
	小計	273	262	10	7	18	-11		80.49	76.45		大阪ユニバーサルシティ	27	27	2	1	1	0	3	91.03	80.77
												小計	676	692	47	44	28	16		86.41	76.28
I-M第2組	茨木	24	24	3	1	1	0	4	95.50	87.75	I-M第6組	大阪	251	265	0	24	10	14	3	76.96	63.55
	茨木東	42	41	4	1	2	-1	4	89.33	75.92		大阪東	117	118	0	3	2	1	4	95.34	82.02
	茨木西	27	29	6	2	0	2	4	89.65	75.86		大阪東淀ちゃやまち	33	34	3	1	0	1	4	88.47	81.02
	千里	43	43	0	1	1	0	4	90.56	74.94		大阪城東	47	51	6	4	0	4	3	82.47	73.77
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	4	93.14	81.37		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	4	95.36	85.18
	摂津	39	41	2	3	1	2	3	89.58	79.19		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	3	86.27	71.65
	吹田	61	61	6	3	3	0	3	94.86	86.86		大阪城北	60	56	2	0	4	-4	4	80.54	79.89
	吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	95.23	85.89		大阪天満橋	68	67	0	0	1	-1	4	89.57	83.22
	吹田西	48	50	1	2	0	2	4	100.00	88.06		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	88.97	86.03
	高槻	44	44	3	5	5	0	4	91.23	87.65		大阪淀川	33	34	2	2	1	1	3	97.35	82.82
	高槻東	39	39	0	0	0	0	3	97.30	81.00		新大阪	37	38	0	2	1	1	4	83.55	79.61
	高槻西	24	23	0	0	1	-1	4	100.00	85.71		小計	748	766	17	41	23	18		87.71	78.98
	小計	458	461	30	19	16	3		93.87	82.52											
I-M第3組	大東	44	44	0	0	0	0	4	100.00	93.18	I-M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	4	89.29	70.61
	大東中央	30	31	12	1	0	1	4	84.12	78.05		大阪本町	25	26	2	1	0	1	4	79.83	69.55
	枚方	42	44	0	3	1	2	4	91.25	84.38		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	3	89.22	74.51
	門真	26	32	4	6	0	6	4	93.47	80.65		大阪南	125	137	0	14	2	12	4	82.84	72.49
	交野	28	30	1	2	0	2	4	88.70	78.25		大阪難波	47	43	0	3	7	-4	4	90.03	75.00
	香里園	17	17	0	1	1	0	4	85.30	76.47		大阪なにわ	32	30	2	2	4	-2	4	81.54	76.51
	くずは	56	58	0	5	3	2	3	78.31	70.15		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	3	98.04	94.00
	守口	39	46	3	7	0	7	4	87.35	72.25		大阪西南	89	87	13	3	5	-2	4	98.75	74.71
	守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	77.89	76.92		大阪船場	42	42	0	1	1	0	4	97.00	78.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	3	90.00	81.00		大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	3	96.49	85.91
	四條畷	12	12	0	0	0	0	4	82.05	72.73		大阪うつぼ	34	36	4	2	0	2	4	87.74	81.66
	小計	360	380	29	28	8	20		87.13	78.55		小計	502	510	29	29	21	8		90.07	77.54
I-M第4組	東大阪	70	66	0	0	4	-4	4	87.63	75.91	I-M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	3	85.62	69.23
	東大阪中央	38	39	0	3	2	1	4	83.62	78.49		大阪平野	37	37	3	3	3	0	4	95.75	83.75
	東大阪東	67	65	6	0	2	-2	4	86.87	67.55		大阪イブニング	21	19	5	0	2	-2	4	78.75	63.75
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	4	87.04	63.89		大阪城南	54	57	0	4	1	3	3	97.51	86.82
	東大阪西	37	37	0	0	0	0	4	93.31	65.43		大阪咲洲	19	19	1	1	1	0	4	85.53	68.42
	大阪柏原	30	31	3	2	1	1	4	89.25	89.25		大阪住之江	22	22	0	0	0	0	3	95.45	67.43
	大阪ネクスト	18	18	6	0	0	0	4	51.50	33.25		大阪住吉	28	28	3	1	1	0	4	93.33	86.55
	八尾	84	80	0	0	4	-4	4	98.43	61.84		大阪天王寺	60	62	0	4	2	2	4	93.59	82.55
	八尾中央	21	22	3	1	0	1	4	86.90	75.00		大阪東南	52	53	0	3	2	1	4	94.34	66.51
	八尾東	26	25	3	1	2	-1	3	61.78	54.17		小計	308	311	13	16	13	3		91.10	75.00
	小計	417	410	22	8	15	-7		82.63	66.48											
I-M第5組	大阪中央	57	54	6	1	4	-3	4	91.67	82.16	合計	クラブ数	7月 期初 会員 数	月 末 会 員	女 性 会 員	入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減		平均 出 席 率	平均 出 席 率
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	4	87.10	83.87		84	3742	3792	197	192	142	50		87.4	76.5
	大阪北	175	188	0	17	4	13	4	84.72	68.14											

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで P D F もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

「洒落たいなかの食風景」 小泉武夫 2010 10p (D.2830)

「フラガール誕生からスバリゾートへの道のり」 斎藤一彦 2010 9p (D.2550)

「試練が人を磨く」 桑田真澄 2010 11p (D.2520)

「スポーツの世界、勝負の掟」 山本 浩 2010 2p (D.2690)

「人と自然との共生」 C. W. ニコル 2010 4p (D.2690)

「未踏の地球内部を掘るー地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦」
平 朝彦 2010 4p (D.2640)

「足元の宝物で地域再生を」 月尾嘉男 2010 10p (D.2640)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー /PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

「お知らせ」

茨木西RC 例会場変更

変更日：2011年3月10日より

新会場：ホテル阪急エキスポパーク 3階「緑樹」

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-5

TEL (06) 6878-5151 FAX (06) 6878-3456

例会日：毎週水曜日 18:30 (変更なし)

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

國 分 紀 一 会 員 (大阪南RC) 2011年 2月19日逝去 (享年72歳)

会長、幹事、
青少年奉仕理事、社会奉仕理事、地区財務委員長

米山功労者 (マルチプル)、
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

鈴 木 忠 夫 会 員 (大阪北梅田RC) 2011年 2月23日逝去 (享年78歳)

会長、理事、会計、SAA、春のライラ実行委員長、
意義ある活動委員会会長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

荒 木 彰 一 会 員 (大阪東南RC) 2011年 3月 6日逝去 (享年76歳)

会長、幹事、会員増強委員長

米山功労者 (マルチプル)、
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ☐ ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- ☐ 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- ☐ 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- ☐ 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 松本新太郎 |
| ・地区代表幹事 | 池尻 誠 |
| ・地区副代表幹事 | 吉本 憲司 |
| ・担当地区幹事 | 小山 悦治 |
| ・担当地区幹事 | 笠井 実 |
| ・担当地区幹事 | 奥谷 英一 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年 8月12日(金)～
2011年 8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年 1月 4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

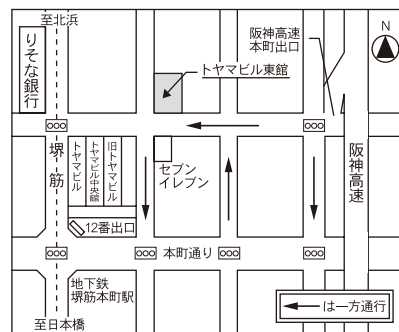
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp